

東京歯科大学同窓会会報 第377号

目 次

グラビア セピア色の写真館

巻 頭 言	1
お知らせ	2～5
理事会のうごき	6～7
学 術	8～9
母校だより	10～12
父兄会だより	13～14
支部のうごき	15～20
ふるさと自慢	21
クラス会だより	22～24
OB会・グループ・サークルだより	24
庶務日誌	25
逝去会員	25～26
へんしゅうこうき	27

(表紙 河原俊朗)

---

セピア色の写真館 ～思い出の一枚～

スキー部





S55 優勝時写真



S62 ルスツ

## スキー部

昭和39年といえば東京オリンピックが開催された年、スキー好きな学生が集まってスキー同好会が発足したという。昭和42年にはスキー部へと昇格。同年、日歯が日大、東歯にスキー大会を開くべく呼びかけ、第一回の大会は志賀西館で行われた。これが後に歯学体スキー部門に姿を変え現在に至っている。一枚目の写真は、ちょうどそのころ山形蔵王スキー場で撮影されたものである。おそろいのヤッケに身を包んでいるのが誇らしげに見える。これがスキー部初めてのユニフォームであろう。二枚目の写真は、昭和48年夏の月山合宿における集合写真。ある年代ま

では、月山と聞くだけで辛い合宿が脳裏に蘇る、いわばスキー部の「聖地」である。三枚目の写真は、昭和55年の記念すべき歯学体初優勝時の集合写真で、場所は尾瀬岩鞍スキー場。部員の数も多くなり第一期黄金時代というべきか。四枚目の写真は、昭和62年の歯学体優勝時の集合写真で、場所は北海道ルスツ高原スキー場。ゼッケンを着けたまま歓喜に沸く皆の笑顔が印象的である。当時の部員総数は40名を超え、学内で最も大所帯のクラブへと成長した。この年の冬には映画「私をスキーに連れてって」が公開され、一億総スキーヤー時代に突入。苗場のリフト待ち1時間が今となっては懐かし

い。時はバブル、第二期黄金時代也。5枚目の写真は、20年余の時を隔てた歯学体優勝時の集合写真。平成20年・北海道かもい岳スキー場、平成21年・尾瀬岩鞍スキー場と連覇を果たす。6枚目の写真は、平成22年3月に車山高原で主幹を務めた現役とOBの集合写真。残念ながら三位で三連覇はならなかった。

最後に多くの写真に登場している部旗にご注目いただきたい。このマークは昭和43年卒・庵原先生のデザインによるものと伝え聞いている。時代が変わっても、部旗はゴールエリアで部員の無事を温かく見守ってくれている。感謝。

(平成元年卒・川越元久 記)



H20 かもい岳



H22 車山

## ライトサイジングへ



副会長

宮 地 建 夫

今年5月、ギリシャが財政危機に陥った。次いでオランダとスペインの財政危機も懸念され、事実、その後二つの国の国債の格下げが現実になった。しかし当のオランダやスペインの国民は、昔の生活との比較や経済状態の実感からか財政破綻の切迫感は薄いという。

ギリシャの労働者は、国の危機をよそに賃金や年金の権利を主張し、大規模なストを行い皮肉にもそれがギリ

シャという国の信用を落とすことにもなってしまった。

権利の主張や既存の生活保全の意識は分からないではない。だが、時の流れと反する権利の主張は、自らが建つ土台ごとの崩壊につながるという構図は遠くからのほうがよく見える。

EU全体が半分パニックになっている財政破綻にもかかわらず、当事者の国民には「切迫感や危機感」とは結びつかない現実とのギャップが、離れたところで視野を広げると見えてくるのは興味深い。

赤字国債の額では日本も負けていない。そして、心配には違いないもののどうも国民の多くは「切迫感や危機感」を感じるまでには至っていないようにみえる。それはヨーロッパの当事者反応パターンと酷似している。

経済通によれば日本の借金はギリシャやオランダと根本的に違うから危機にはあたらないと説明する。その真偽は別にして、近くでみればいろいろな条件や流れの様が見えるから、都合の良い理屈をつけて「切迫感」から遠ざかれということもあるのではないか。ディテールを見て全体を把握できないということもありそうだ。

日本に来てたまたま地震に遭遇した外国人はどうしてこんな危険なところに平気で生活できるのか不思議がると聞くが、そうかもしれない。そうかといって「どこにいけばいいんだ」と啖呵も切りたくなる。

同窓会の将来に思いを馳せる。会費の納入率は悪くはない、なんとか赤字は出さずにすんでいる。しかし、歯科大学の定員は減少圧力が加わっているのが現実だ。国立の歯学部はすでに削減が始まり、母校もそうした圧力と戦っている。

さらに臨床研修医制度が、卒業直後の選択肢を多様にしたことによって、同窓意識が育つ前に母校から離れてしまうことも危惧される。

いずれにせよ、同窓会員は右肩下がりの減少傾向にあると考えるのが妥当だろう。「切迫感や危機感」にはほど遠いとは思いますが、なにせ見えづらい身内のことだ。少しは先々の姿を俎上に乗せて議論しておくべきかもしれない。

将来の同窓会の姿を、どの程度の規模や内容にしたいと考えるのか。それには今何をしておかなければならないのか、その中身がほどほど適当（ライト）なのかというライトサイジングへの一步を今踏み出したい。

# お知らせ

## 理事会より

- 東京歯科大学同窓会本部事務所の移転について  
8月11日（水）に大学の移転に伴い水道橋病院裏で三崎神社通り沿いのいしづかビル5階へ移りました。住所、電話番号は変更ありません。  
移転後も落ち着くまで何かと会員の皆様にはご迷惑をお掛けするかもしれませんがご配慮のほどよろしくお願い致します。

## 同窓会事業・行事

- 母校創立120周年記念第38回全国ゴルフ大会  
と き 平成22年9月2日（木）  
ところ 神奈川県・相模原ゴルフクラブ・西コース
- 平成22年度東京歯科大学同窓会評議員会・定時総会  
と き 平成22年11月27日（土）  
ところ 如水会館（千代田区一ツ橋2-1-1）
- TDC 卒後研修セミナー2010プログラム  
卒研セミナー  
No.6 『SPT の実際』 ～エビデンスに基づいたメンテナンスとは？～ 9月12日（日）  
No.7 『咬合育成の基礎と臨床』 ～床矯正装置入門～ 10月17日（日）

問い合わせ先：東京歯科大学同窓会学術部  
Tel. 03-5275-1761

## 各種委員会委員

- 広報部委員会委員（敬称略）  
就任 渡 邊 宇 一 氏（S63卒）平成22年7月～平成23年12月  
退任 小 林 伯 男 氏（S40卒）

## 地域支部連合・支部関係

### ●支部長交替

平成22年6月1日付		平成22年6月26日付	
秋田県支部	藤原元幸 氏（昭50卒）	福島県支部	佐藤正矢 氏（昭53卒）
前支部長	高橋昭一 氏（昭38卒）	前支部長	椎木一雄 氏（昭44卒）
大学支部	高野伸夫 氏（昭51卒）		
前支部長	山根源之 氏（昭45卒）		

## 母校関係行事・案内

- 平成22年度東京歯科大学学会  
第290回総会 平成22年10月16日（土）千葉校舎  
演題締切 8月24日（火）

## TDC 卒後研修セミナー2011 同窓への先行ご案内のお知らせ

これまで同窓会学術部委員会では、歯科医師生涯研修を目的として TDC 卒後研修セミナーを開催してきました。現在も来年度に向けて、日常臨床に役立つ知識と技術の修得を中心に、基本的手技の確認、最新の知見と有効性の検証を加味しセミナーを企画しております。

お陰様で申し込み人数の増加に伴い、毎年キャンセル待ちも発生するようになりました。しかしながら、このため同窓の皆様にはご迷惑をお掛けしている状況も、一部見受けられるようになりました。

そこで、今回は同窓に向けていち早く次年度セミナーの内容をご案内し、優先的なお申し込みを承りたく、下記同窓会ホームページにて同窓向け先行告知を行いたいと思います。

つきましては内容をご覧の上、多くの同窓が参加されますよう心からお待ちしております。

TDC 卒後研修セミナー2011プログラム

委員長 小林慶太

URL : <http://www.tdc-alumni.jp/>

掲載予定：9月下旬

## 東京歯科大学同窓会 若手同窓支援セミナー 2010

「よく解る・保険診療録の書き方と患者さん対応のポイント」  
～正しい記録でトラブルを防ごう～

この度、同窓会では新規事業として主に卒後5年目までの同窓を対象とした、若手同窓支援セミナーを企画いたしました。

今回の内容は、臨床に出られて間もない先生方が不安を感じる医療保険、医療事故の話題を中心に、他の講演会ではなかなか聴くことの出来ない実例を基にした講演を行います。

また、これらの事例に対する学術的な考え方、患者さんとのコミュニケーションの取り方についてもディスカッションする予定です。

歯科臨床に永く関わってゆくためのスタートとして、是非とも知っておいていただきたい情報を多く準備しております。

休日の午後、臨床スキルアップのために多くの参加をお待ちしております。

講 師：稲葉 孝夫（東京都歯科医師会・

医事処理担当理事）

山口 和彦（東京歯科大学水道橋病院・

非常勤講師）

東京歯科大学同窓会保険部委員・学術部委員

日 程：11月7日（日） 13：00～17：00

会 場：水道橋 TDC ビル 13F セミナー室

受 講 料：無料

参加方法：資料準備のため事前登録にご協力ください。

（締切・9月30日）

下記用紙にご記入のうえ、同窓会事務局 FAX  
03-3264-4859へお申し込みください。

### 若手同窓支援セミナー 2010 事前登録

氏 名		卒 年	
勤務先名		T E L	
住 所			

## 会務アラカルト：同窓会改革検討特別委員会から答申

この度、同窓会改革検討特別委員会から大山会長あてに答申書が提出されました。平成21年度から検討されてきました同窓会改革は、実現にむけ大きく前進したことになります。ここでは今回提出された答申のポイントを紹介しながら、理事会の現況と今後についてふれていきます。

まず検討中の「同窓会改革に向けての提案」は

- 1) 支部・地域支部連合会との関係強化
- 2) 母校との連携強化
- 3) シンクタンク機能の推進
- 4) 主に若手同窓会会員のための研修会の開催
- 5) 本部同窓会執行部および評議員会の改革です。

### 答申で示された同窓会機構改革の方向性

「同窓会改革に向けての提案」の改革案1)～4)に関して、会則変更を必要としない部分については、本委員会の最終答申を待たずに、執行部およびワーキンググループにおいて、具体的計画を進めていくべきとしています。そして5)の「評議員会の改革」については、評議員会の経費の大きさと会費の有効活用から評議員会のスリム化を具体的な案とともに提案しています。

評議員は1支部100人ごとに選出する会則になっていますが、答申では、地域支部連合会ごとの会員数から評議員を選ぶ案、すなわち地域支部連合会単位に最低1名、会員100人を超えるごとに1名を選出する方法を提案しています。この方法によれば、今までの支部単位選出で128名であった評議員は66人に削減できるだろうというシミュレーションを立てています。

評議員数が削減になりますと支部長の先生の一部は評議員会に参加できないことになり、本部との関係が希薄になるのではとの懸念もありますが、本答申では、地域支部連合会ごとに支部長会を開催し、そこに本部から会長、専務等が参加し意見を持ち帰り反映するようにとの案を出しています。

これら明確に打ち出された改革の

方向性のベースとして、答申冒頭で述べられているように、「同窓会の直面する問題」として、若手の会費未納入・支部未入会問題をあげ、将来への懸念として会費収入の減少、組織率の低下、会の弱体化をあげております。そして、「同窓会の将来」として、先進的・機能的な同窓会組織の確立、歯科界のリーダーシップをとるべき人材の育成、有機的活動のできる全国組織の再構築をあげ、特に組織の強化のため人材確保、同窓会活動の認識および啓発、人材の育成、ネットワークの確立、低経費での組織運営、事業内容のスリム化、重要事業の特化、全国会員との連携の強化などをあげ、同窓会改革の必要性を強く打ち出していただきました。

### 執行部の現況と今後

今回の改革は、組織強化、大学との連携強化、事業改革、若手対策、機構改革と多面的な改革を目指すものです。執行部では、その準備として情報ネット推進ワーキンググループ、管理系ワーキンググループ、事業系ワーキンググループなどを立ち上げ、検討特別委員会のための基礎資料作成からトライアルの計画と実施を進めてきました。情報ネットワークを試験的にスタートし、109支部のうち78支部の協力のもと、多くの情報提供を行ったり、それに

対する質問にも答えるようにしてきました。そして支部、地域支部の現状を把握するためのアンケートを行ない、統計分析には至りませんが全国同窓会組織のおおまかな全体像を探ろうとしてきました。

管理系ワーキンググループではまず会員管理のためのコンピューターシステムを改変しようとしております。これにより今まで以上に会員情報を整理することが可能になり、会員データの管理や会費請求事務のみならず事務局における先生方への対応、会員や会計情報の分析にもきめ細かいアプローチが可能になると期待しております。

事業系ワーキンググループでは、前ページに案内を掲載しましたように「若手同窓支援セミナー2010」を企画しました。この研修企画の結果を分析し、今後どのように若手同窓への支援を行うかを考えてゆきます。またシンクタンクでは、現在、1. 歯科医療制度について、2. 生涯研修の中での同窓会の役割について、3. 臨床研究の実施などの案が出されております。“歯科医療制度”についてはフォーラムの場で、また“生涯研修への同窓会の役割”については、他校同窓会との連携をつくり、新しい生涯研修システム作りに役立つことができればと思っています。更に事業系ワーキンググループでは、大学との各種事業

の連携も進めており、certificate をだせる専門性をもった研修会、たとえばインプラントセミナーのような大型企画を大学と一緒にできるよう検討中です。今回の1) から4) 提案に対する委員会の答申により、次年度これらの試案を実現できる可能性が大きくなりました。

今回の答申では地域支部連合会の役割も大きくクローズアップされました。地域支部連合会の活動状況は

地域により大きく変わります。会員数や地理的な要因がどうしてもマイナスにはたりますが、大山執行部では足腰の強い同窓会を作ろうと、地域支部連合会が各地域でそれなりの形で活性化できないかと願い、昨年につづき地域支部連合会会長との懇談会を開催しました。各地域支部連合の地で渉外部委員会を開催する渉外部からの提案もそうですし、今回の答申にある各地域支部連合の地の支部長会の開催についても全国

同窓会組織の活性化につながり得るもので、今後、地域から上がるいろいろなご意見を大切に、良い形に練り上げることが出来ればと考えております。

この後、理事会ではこの答申をもとに今後の改革を具体的にどのように進めていくか、各方面の先生方の意見をとりまぜながら評議員会へと進んでいきます。足腰のつよい同窓会にむかって一步一步確実に改革の方向に向っていきます。

## 東京歯科大学創立120周年記念 DVD「近代歯科医学教育を拓く」送付について

先般お知らせいたしましたように、標記のDVDを母校のご好意により、同窓会へ寄贈していただきましたので、同窓の皆様に配布することに致しました。

母校創立から百二十年の歴史の中で、先達が如何に苦勞し努力して、現在の東京歯科大学を築いてきたか、同窓生のみならず歯科医療関係者にとっても、貴重な「歯科医学史」の資料となると思います。

120周年記念祝賀会の折に、このDVDを見た多くの同窓生が、大変感激すると共に東京歯科大学同窓である誇りと喜びを感じた、とのコメントを寄せていた

だいております。

また、先般同窓の皆様にお送りいたしました、会長名の「120周年記念事業への協力についてお願い」の文章とともに、今回DVDに同封いたしました大学からの「母校へのご寄付のお願い」もご覧いただき、ご理解のうえ募金にご協力賜りますようお願い申し上げます。

東京歯科大学同窓会  
会長 大山 萬夫

## 東京歯科大学創立120周年記念 DVD「近代歯科医学教育を拓く」

このDVDは本学創立120周年記念事業の一環として、同事業実行委員会（統括責任者 熱田俊之助理事長、実行委員長 金子讓学長）の記念誌編集部が制作したものです。

日本の近代歯科医学教育に果たした本学の功績が史実に基づき編集されており、また建学者である血脇守之助先生の動画をはじめ、貴重な映像が収録されております。

同窓各位には本DVDをご覧いただき、千葉キャンパスの水道橋への移転にご理解を賜われれば幸いです。

120周年記念事業実行委員会  
熱田俊之助  
金子 讓



# 理事会のうごき

## 第3回理事会

平成22年6月12日(土)午後2時30分

於 特別会議室

出席 30名

議長 大山会長

### 会長挨拶

東京歯科大学120周年記念フォーラム・式典は盛大に滞りなく終了した。同窓会としても同窓の先生方のご協力をいただき感謝している。

全国歯科大学同窓会・校友会主催の西村まさみ先生の総決起大会に対しご協力いただき、特に東京地域支部連合をはじめ関東の支部の先生には多大な協力をいただき感謝している。

### 黙 禱

平成22年5月12日から本日までに逝去連絡があった12名のご逝去を悼み、謹んで哀悼の意を表した。「黙禱」

### 会務報告および承認

- 1) 平成22年5月14日から12月20日までの日程を報告。
- 2) 各部報告
  - (1) 総務部：①支部長交代について2件報告。②支部長退任時の感謝状ならびに記念品の贈呈について2件報告。③支部学術講演会講師派遣交通費の支出について6件報告。④地域支部連合会会長と同窓会役員との懇談会について報告。
  - (2) 会計部：報告は特になし
  - (3) 渉外部：①渉外部委員会について報告。②ブロック別委員会をモデル地域として東海地域支部連合会から試行したい旨報告。③来年度の日歯会長改選期に備えていきたい旨報告。
  - (4) 学術部：①学術部委員会について報告。②TDC 卒後研修セミナー2010について報告。
  - (5) 広報部：①広報部委員会について報告。
  - (6) 厚生部：①厚生部委員会について報告。②厚生部委員会ゴルフ大会委員会について報告。
  - (7) 保険部：①保険部委員会について報告。
  - (8) 情報部：①情報部委員会について報告。
  - (9) 作業部会
    - ①管理系ワーキンググループ：同窓会改革検討特別

委員会より、会則変更を伴わない改革案について、具体的な企画案をだすことが求められ、3つのワーキンググループ代表者で作成した企画案を説明し、次の委員会に提出することを報告。

- ②事業系ワーキンググループ：日本型歯科医療についての小林 顕先生(昭和56年卒)のプレゼンテーションについて報告。
  - ③情報ネット推進ワーキンググループ：情報ネットワークによる情報提供とホームページアクセス数との関連について報告。
- (10) 同窓会改革検討特別委員会：第2回委員会について報告。
  - (11) 第58回全国歯科大学同窓・校友会懇話会準備会：平成23年7月23日(土)に東京ドームホテルで開催する。内容については今後さらに協議していく予定である旨報告。

### 各地域選出理事報告

- 1) 戸田理事(北海道)
  - ①当初は北海道地域支部連合会卒後研修会開催日を11月27日に予定していたが評議員会と重なったため、11月13日に変更したことを報告。
- 2) 長久保理事(関東)
  - ①9月4日関東地域支部連合会総会が埼玉県支部主催で開催されることを報告。
- 3) 早速理事(東京)  
特になし
- 4) 飯島理事(信越)
  - ①7月3日信越地域支部連合会総会を新潟県が当番で開催、8月28日長野県合同総会が開催されることを報告。
- 5) 宮田理事(東海)
  - ①6月6日開催された東海地域支部連合会支部長会において、地域支部連合のブロック別委員会について協議された。愛知県で5名の委員が選出されており、今後本部との連携を強化していきたい旨報告。
- 6) 宮本理事(北陸)  
特になし
- 7) 井口理事(近畿)
  - ①近畿地域支部連合会支部長会では、5月22日に開催された連合会長懇談会を開催した効果があったが、具体的に何をすればいいのかが分らないという

ことであった。②2年に1回連合会を開催するので、空白の1年は各支部の総会開催時に会長に来ていただくか、会長からのメッセージを支部長に託してもらいたい。③同窓会主催で地方において講習会を開催してほしい。

8) 山根理事(中国)

①依頼されたアンケートは中国地域支部連合会5県支部長の意見を取り纏め回答した。支部長アンケートは意見を列挙してまとめとなっているが、これでは一件落着はもったいない。連合会長との懇談会では、傾聴すべき意見もあり、解決の道をつけて頂ければ本部と地域支部の一体感が深まると思う。

9) 久保田理事(四国)

①6月5日四国地域支部連合会総会を開催した。四国地域支部連合会は和気藹々・難しいことは抜きで地域の会員が集まって肩を叩き合って話をする、それを若い人が考えてくれる。人間の輪作りでやっている。

10) 濱田理事(九州)

①6月5日支部長会の協議事項の中に「宮崎県における口蹄疫被害義援金のおねがい」があった。支部

と本部の関係で意見があったが、連合会長が地域選出理事を兼ねていればいいのではという意見もあった。メール連絡網が出来ているので、つながるようになっていく。

協議事項

- 1) 共済負担金納入免除願について2件承認。
- 2) 会費、共済負担金納入延期願について2件承認。
- 3) 推薦会員退会願について1件承認。
- 4) 推薦会員入会願について1件承認。
- 5) 平成23年度事業計画(案)および予算(案)について協議の結果、9月の理事会で提示することを了承。
- 6) 広報部委員会委員1名退任の申し出があった。協議の結果新委員の選出は会長一任とし承認。
- 7) 厚生部「緊急時歯科医師委嘱制度についてのアンケート」について種々協議の結果、調査アンケートとして出すことを承認。
- 8) 水道橋移転にかかわる募金に対する同窓会の姿勢、同窓会事務所移転への対応についての意見交換がされた。



## 卒研レポート2010

### 歯の審美的回復 ～レジンダイレクトフィリングとホワイトニング～

2010年6月13日に血脇ホールにて37名の受講生が参加して開催されました。

日常臨床でコンポジットレジン修復は欠かせない手法となっています。このセミナーでは、より審美的にダイレクトレジン修復を成功させるために必要な色調の再現方法、テクニックを講演と実習を通し学びました。

また、ホワイトニングについてもメカニズム、術式、注意点なども学びました。



講演では、レジン修復の特徴（欠点）を補い、色の再現を求めるため積層充填の手法再現法を天谷哲也講師に学び、理科学的特性を河田英司講師に講演いただきました。河田講師には照射器の注意点、距離による照射量の変化、表層の未重合層の扱いなどを講演いただきました。



午後の実習では、エポキシ模型に上顎中切歯、側切歯、上顎第一大白

歯の具体的な欠損に対してレジン積層充填をおこないました。



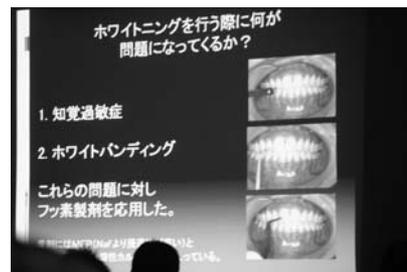
前歯部の隅角を含む修復においては、レジンの透明性が強いので単一レジンでは背景の色が影響し色調が再現できないので、積層にてオパークレジンを使用する。歯質との移行部、鋭縁部にはフローの高いレジン、ポディーになる色のをせ、隣接部切端部にはCEレジン（クリアエナメルレジン）場合によってはWE（ホワイトエナメル）レジンにて積層を完成させる。

白歯部にはラバーダムを装着し、マトリックスキットにより隔壁、隣接部は明度を上げるため一層明るいフロアブルレジン、窩底にはベース色のフロークイック、欠損側は明るい色窩洞の半分までベース色、表層に白歯部用レジンにて積層を完成させる。白歯部ではエポキシ模型にラバーダムや隔壁を装着となれない作業に戸惑う受講生もいましたが、全体的には皆さん慣れている事もあり、スムーズにこなしていました。

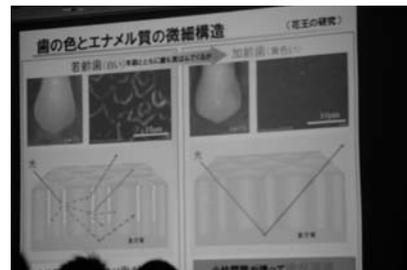
実習後はホワイトニングについての講演があり、生活歯の漂白メカニズムについてはあまり分かっていないようですが、表層エナメル質の光

の散乱（ガラスが曇りガラスへ）と着色象牙質の着色物の脱色（分解）にあるようです。また、平井基之講師より実際の臨床応用症例を見せていただき、ホワイトニング中おこる知覚過敏やホワイトバンディング（白濁）に対する処置、フッ化物の応用など講演いただきました。

ホワイトニングは、受講生の半数ぐらいが実際におこなっているようでした。



最後に花王の磯部勉講師より歯の色のメカニズムと題し、歯の色の実態、評価法、分析、エナメル構造による加齢変化などを講演いただきました。



日常臨床で頻繁におこなっている手技を実習する事で自分がおこなっていなかった詳細な術式、手法を学べる1日でした。

（取材・広報部 島田 篤）

## 卒研レポート2010

『安全で確実なインプラントをするために』  
～知っておきたい知識と手技～

梅雨明け間近の7月10日（土）、11日（日）の2日間に亘り、上記セミナーの取材に行ってきました。

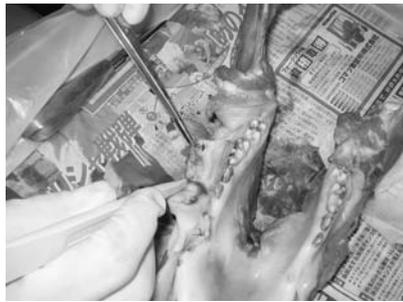
このセミナーはこれからインプラントを始めようとする方を対象としていて、導入後遭遇すると予想される問題点を解決する講演と、解剖学、外科的基礎知識を中心に学べ、実習では、基本術式および埋入のコツをマスターできる内容の構成になっています。

初日は関根准教授から「インプラント治療の臨床・診断」の講演、レントゲンのトレース実習を受けました。

続いて解剖学的知識を阿部准教授から、外科基本手技、オペの前準備を矢島教授から受けました。オベ着やグローブの着用の仕方は受講生がペアを組んで体験し、いざ手術をしようとしても、準備に何が必要か、ガウンもどかのように着用したらよいか初心者にはとても参考になったかと思えます。



午後はブタ顎骨を使った外科実習がありました。メスの使い方、骨膜剥離の基本、減張切開、縫合などインプラント手術に必要な基本手技がじっくりと学べたようです。最後に顎模型埋入・印象採得実習を行い初日が終了しました。



## 2日目はマネキン顎模型の埋入実習

千代田区でご開業の藤関先生より「臨床におけるインプラント埋入から上部構造までの基本術式」の講演のあと、いよいよ埋入実習です。テーブルに取り付けられた頬粘膜・有歯肉付き顎模型は実際に自分が手術しているかのような体験ができ、初日に体験した机の上に平に置いた顎模型とは全然勝手が違ってきます。

受講生はみな既に臨床医ではありますが、タービンによる歯の形成には慣れているものの、口腔内を想定した模型は想像していたより歯肉剥離、ドリリングも難しく、2本の埋



入方向が違っていたり、ドライバーを飲み込ませたりと実践前の有意義な実習を体験しました。

インプラントメーカーの実習講習会の受講だけでは、埋入は模型体験できてもガウン着用など手術準備、解剖学的知識の確認、偶発症の理解、対処法など初心者が心配するであろう項目が疎かになってしましますが、初心者の身になって丁寧で非常に内容の濃いセミナーでした。

2日間を通して得られた知識と技術が確実にインプラント臨床の一助になるものと思われました。

（取材・広報部 福井雅之）



# 母校だより

## 水道橋移転に対する クラス会（昭和39年卒・十二期会）より大学へ寄付

東京オリンピックがあった昭和39年卒の十二期会は、卒業以来1年も休まず全国にいる級友が幹事を引き受けてクラス会を毎年開催しています。

本年は母校の創立120周年祝賀会に併せて、前日の21日の昼下がりには東京駅鍛冶橋バスプールを出発して、さいかち坂から白山通りの建設用地を見学してから稲毛に向かい、千葉校舎・千葉病院をゆっくり見学した後に、ヒルトン東京ベイに於いて第45回目の総会・懇親会が開催されました。

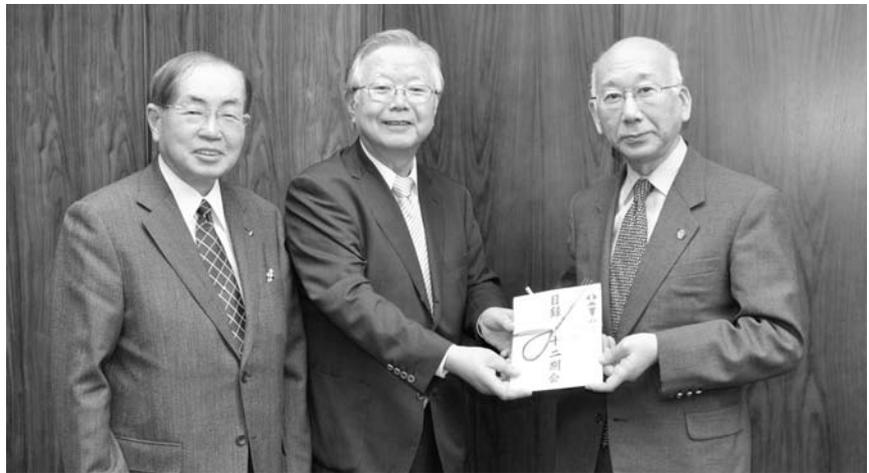
その総会において、会員から母校の水道橋移転事業と同級生である金子 譲学長を応援するために寄付金

の提案がなされ、満場一致で賛同されて、金額も母校の創立120周年と十二期会の12という数字に因んで120万円に決めた次第です。

丹野会長はICD 出席のため不在

でしたが、善は急げとばかりに総会から1週間後の5月29日に会計担当の増田と片倉の両名から金子 譲学長に手渡されました。

(増田紀男 記)



## 創立120周年記念事業に伴う 父兄会から大学への寄付金について

去る6月19日（土）千葉校舎講堂において、「平成22年度父兄会定時総会」が開会されました。当日は、学生総数の6割近くの保護者が出席、盛況のうちに閉会いたしました。

また、今回は「創立120周年記念事業に伴う父兄会から大学への寄付金案」が議案として上程され、鈴木千枝子父兄会長より保護者に趣旨説明を行い、父兄会特別事業積立金より2,500万円を大学に寄付することが決議されました。

総会終了後には、鈴木千枝子父兄会長より、金子 譲学長へ寄付金の目録が寄贈されました。

なお、当寄付金は、水道橋校舎への移転後に施設設備や備品等の費用

として充てられる予定です。



## 平成23年度東京歯科大学入学案内 (東京歯科大学入試要項より)

### 1. 入試日程一覧 (全募集人員128名)

入試制度	募集人員	出願期間 (期間内必着)	試験日	合格発表日	試験会場
推薦入学	約45名	平成22年11月1日 ～ 平成22年11月9日	平成22年 11月13日	平成22年 11月16日	東京会場： 東京歯科大学水道橋校舎 大阪会場： 天満研修センター 福岡会場： TKP 天神シティセンター
帰国子女・ 留学生特別選抜	若干名				
学士編入学	若干名				
一般入試 (I期)	約50名	平成22年12月16日 ～ 平成23年1月27日	平成23年 2月2日	平成23年 2月5日	東京会場： 東京歯科大学水道橋校舎 大阪会場： 天満研修センター 福岡会場： TKP 天神シティセンター
大学入試センター利用 試験 (I期)	13名				
一般入試 (II期)	約15名	平成23年2月22日 ～ 平成23年3月8日	平成23年 3月12日	平成23年 3月15日	東京歯科大学水道橋校舎
大学入試センター利用 試験 (II期)	5名				
編入学	若干名				

### 2. 出願資格

#### 推薦入学 (一般公募制)

次の各条件を満たし、かつ高等学校長が責任を持って推薦する者。

1. 平成22年3月高等学校卒業者または平成23年3月高等学校卒業見込の者。
2. 人物・性格ともに優れ、健康である者。
3. 入学を許可された場合、必ず本大学に入学することを確約できる者。

#### 学士編入学

4年制大学を卒業した者または平成23年3月卒業見込の者。

#### 帰国子女・留学生特別選抜

次の各項のいずれかに該当する資格を有し、入学を許可された場合、日本語での授業を理解できる者。

1. 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者または修了見込の者またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者。
2. スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格を有する者。
3. ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格を有する者。
4. フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格を有する者。

#### 編入学

次のいずれかを満たす者とする。

- ① 4年制大学卒業生または平成23年3月卒業見込の者。
- ② 医療技術系短期大学を卒業した者または平成23年3月卒業見込の者。  
※医療技術系短期大学とは、看護・歯科衛生・歯科技工・臨床検査・診療放射線・理学療法・作業療法・臨床工学・言語聴覚等の分野を履修する短期大学
- ③ 4年制大学に2年以上在学し、所定の単位を取得した者。  
※所定の単位は、総単位数65単位以上とし、うち数学・物理学・化学・生物学に関する科目について合計16単位以上を必要単位数とする。

### 3. 試験内容

入試制度	選考内容・試験内容
推薦入学（一般公募制）	(1) 小論文 (2) 小テスト [外国語（英語）、数学、理科（物理・化学・生物から1科目を選択）] (3) 面接
帰国子女・ 留学生特別選抜	(3) 面接
学士編入学	(1) 小論文・小テスト（英語を含む総合試験） (2) 面接
一般入試（Ⅰ期）	(1) Ⅰ期 学力試験（出題範囲は※1参照） ① 外国語（英語） ② 数学 ③ 理科（物理・化学・生物から1科目を選択） Ⅱ期 学力試験（出題範囲は※1参照） ① 外国語（英語） ② 数学・物理・化学・生物のうち1科目を選択
一般入試（Ⅱ期）	(2) 小論文 (3) 面接
大学入試センター利用試験（Ⅰ期）	(1) 大学入試センター試験の受験科目 外国語 「英語（リスニングを除く）」 数 学 「数学Ⅰ・数学A」、 「数学Ⅱ・数学B」の2科目 理 科 「物理Ⅰ」、 「化学Ⅰ」、 「生物Ⅰ」から1科目
大学入試センター利用試験（Ⅱ期）	(2) 小論文 (3) 面接
編入学	(1) 学力試験（出題範囲は※1参照） ① 外国語（英語） ② 数学・物理・化学・生物のうち1科目を選択 (2) 小論文 (3) 面接

#### ※1 一般入試（Ⅰ期、Ⅱ期）、編入学学力試験出題範囲

外国語 英語：英Ⅰ、英Ⅱ、リーディング、ライティング、およびオーラルコミュニケーションⅠ、Ⅱに共通な事項。ただし、実際に音声を使ったリスニングテストは行わない。

数 学 数学：数Ⅰ、数Ⅱ、数A、数B。なお、数Bは「数列」と「ベクトル」を出題範囲とする。

理 科 物理：物Ⅰ、物Ⅱ [ただし、学習指導要領に示された物理Ⅱのうち以下のものを除く。

〔3物質と原子〕の「イ 原子、電子と物質の性質」、〔4原子と原子核〕

化学：化Ⅰ、化Ⅱ

生物：生Ⅰ、生Ⅱ [ただし、学習指導要領に示された生物Ⅱのうち以下のものを除く。

〔3生物の集団〕

### 4. 学納金（全入試制度共通）

入学金	600,000円（入学時のみ）
授業料	3,500,000円
歯学教育充実費	4,300,000円（入学時のみ）
施設維持費	1,000,000円
合計	9,400,000円

— 受験科目詳細・入学手続きその他詳細は [入試要項] をご覧下さい —

（入試要項は、大学教務課に資料請求して下さい。web サイトからも請求可能 <http://www.tdc.ac.jp/>）

# 父兄会だより

## 父兄会長就任の挨拶



新会長 鈴木 千枝子

平成22年度父兄会総会におきまして、東郷前会長の後任として第64代父兄会長をお引受けすることになりました。本年は大学創立120周年の記念の年にあたり、例年の父兄会事業に加え記念行事を行うことになり、この大役を前に身の引き締まる思いでございます。

5月に行われました創立120周年記念事業では、国内外から多くの方がご参集され関心の大きさを改めて感じました。在学生の記念行事は例年の東歯祭に引き続き、11月1日に行われる予定でございます。この行事を契機に未来の歯科医師像を考え、近い将来の同窓生にも「歯科医師である前に人間たれ」という血脇イズムこそが「歯科医師の品格」に通じものであること再確認していた

だけますよう、サポートして参りたいと存じます。

また、水道橋校舎への移転事業に際しまして保護者からの寄付は募らないという大学の方針でございますが、財政状況の厳しい折、父兄会特別事業積立金より2500万円を寄付することが定時総会で承認されました。学生関連施設、設備等に充当していただく意向を添えて目録を金子学長にお渡し致しました。

今後は、同窓会と同様、父兄会におきましても改革すべき点があり、検討しなければならない時期にきていると思われま。厳しさを増す昨今ではございますが、同窓の皆様にはご指導、ご協力の程、何とぞよろしくお願い申し上げます。

## 父兄会長退任の挨拶



前会長 東郷 幹夫

母校東京歯科大学は、本年、創立120周年をむかえ、記念式典、祝賀会も滞りなく終了し、また新しい歴史を刻み始めました。西宮前会長の後をうけて、第63代会長をお引き受けしたものの、会長として、このような大切な節目の時期に責務を全うできるのか、甚だ不安ではございましたが、大山萬夫会長はじめ、同窓会の皆様のご指導、ご協力により、無事に任期を終了できたことを、まずは御礼申し上げます。

父兄会は、昭和22年の発足ですが、当時とは、社会状況や教育環境、そして学生気質も大いに異なります。しかし、どんな時代であっても「血脇イズム」は、普遍であり、野口英世博士をして「高雅学風、万古に徹す」と言わしめたその学風は、連綿と受け継がれています。そ

の学風のもと、たくさんの卒業生が巣立ち、歯科界各分野で活躍する同窓を輩出してきました。まさにそれが「伝統」であると考えます。その伝統を次代へ引き継いでいくのが父兄会、あるいは同窓会の大きな役割ではないか、とも考えます。次期の鈴木千枝子会長は、女性として初めてその任を担うこととなりますが、持ち前のきめ細やかな気配りにより、同窓会と協力しあって伝統を引き継いで頂きたいと願っております。

なにかと厳しい時代ですが、今春卒業した115期生を、同窓会の新入会員として、そして、母校の伝統の担い手として、あたたかくむかえて頂く事を念願をいたしまして、父兄会会長退任の挨拶といたします。

平成22年度		理 事	山 本 明 彦	埼 玉	小 谷 隆 一
東京歯科大学父兄会役員名簿		〃	荻 原 俊 美	新 潟	佐 藤 徹
会 長	鈴 木 千 枝 子	〃	高 崎 一 郎	富山・石川・福井	野 田 修
副 会 長	藤 関 雅 嗣	〃	坂 入 道 子	山 梨	矢 崎 篤
〃	白 田 準	〃	石 井 俊 昭	長 野	黒 岩 茂
〃	鈴 木 伸 宏	〃	福 田 紳 一	岐 阜	太 田 功 正
常務理事 (庶務)	鳩 貝 尚 志	〃	中 川 雅 晴	静 岡	喜 田 真 司
〃	小 林 一 公	〃	石 和 久	愛 知	青 木 宏 道
常務理事 (会計)	佐 藤 浩 一	〃	松 崎 英 雄	三重・和歌山	大 矢 孝 臣
〃	齋 藤 守	〃	小 林 容 子	滋賀・大阪・京都・兵庫・奈良	
常務理事 (貸与)	荒 川 幸 雄	監 事	西 宮 寛		北 村 眞 也
常務理事 (傷害)	秋 草 正 美	〃	東 郷 幹 夫	鳥取・島根	三 原 理 功
常務理事 (広報)	中 村 隆			岡山・広島・山口	柏 村 眞
〃	森 田 正 純			徳島・香川・高知・愛媛	
〃	宮 吉 久 美	北 海 道	市之川 正 孝		川 上 清 一
理 事	寺 本 信 三	青森・秋田・山形	菊 地 敦 子	福岡・佐賀・長崎・熊本	
〃	小 山 亨	岩手・宮城・福島	鈴 木 隆		中 西 久 人
〃	齋 藤 正	茨 城	重 藤 一 良	宮崎・大分	池 田 信 治
〃	川 崎 輝 子	栃 木	柳 川 敏 夫	鹿児島・沖縄	前 山 泰 代
〃	橋 本 東 兎	群 馬	築 瀬 一 彦		

父兄会協力委員一覧

一口メモ

古い「同窓会名簿」、どうしていますか？  
(まさか、そのままゴミの日にポイッ！ですか？)



困ったな～、古い同窓会名簿、歯科医師会名簿、保存していた古い技工指示書など患者名入り書類・・・。個人情報はどうやって処理しようか？

そんな悩みをスッキリ解決してくれるサービスを見つけました。クロネコヤマトの「機密文書リサイクルサービス」です。

専用ダンボール箱 (44×32×28cm, A4用紙が横に2枚入る大きさ) に入るだけ詰め込み、1箱1,800円 (税、箱代込み) となっています。封をして箱を出すと未開封のまま工場に運び、溶解処理して確実に機密を保持、溶解完了証明書も発行していただけます。溶解処理後は再資源としてトイレットペーパーや専用段ボール箱などにリサイクル！

ヤマト運輸ホームページから「法人・個人事業主のお客さま」→ビジネスサポートコーナーから「機密文書リサイクルサービス」のページを開けます。ご興味ある方は、ヤマト運輸ホームページをご覧ください。

(この他に「機密文書リサイクル」で検索すると、佐川急便の「飛脚機密文書リサイクル便」など多数見つかります。ご自分にあったサービスをお選び下さい。)

広報部委員 福井雅之

# 支部のうごき

## 掲示板

\*この掲示板は、同窓会ホームページ <http://www.tdc-tdc-alumni.jp> にも掲載されています。

日程等、決まり次第、できるだけ早めにお知らせください。

印刷、発行日の都合上、会報に載せられない場合がありますが、その場合は同窓会ホームページに掲載されますので、ご了承ください。

事業種目 日 時	演題及び講師 又は事業内容	会 場	主 催 連 絡 先	外部より 参加可否
学術講演会 平成22年 10月19日（火） 午後7時	「難治性根尖性歯周炎の原因とその対処法」  古澤成博准教授 (東歯大口腔健康臨床科学講座)	東武ホテルレバント東京 墨田区錦糸1-2-2 TEL 03-5611-5511	深川支部 連絡先 総務・中澤 章 TEL 03-3846-4618	同窓会員
学術講演会 平成22年 10月20日（木） 午後7時	「審美歯冠修復—セラミック修復とダイレクトボンディングの融合」  大谷一紀先生 (東京都開業)	三井住友海上ビル14F 第9会議室 千代田区神田駿河台 3-9 TEL 03-3259-3854	千代田支部 連絡先 担当・太田和秀 TEL 03-3259-3853	支部会員 同窓会員 歯科関係
学術講演会 平成22年 11月13日（土）	「メタボリックシンドロームと歯周病」  中川種昭教授 (慶應義塾大学医学部)	未定（山形市近隣予定）	山形県支部 連絡先 担当・歯科医師会 TEL 023-632-8020	支部会員 同窓会員 歯科関係
学術講演会 平成22年 12月4日（土） 5日（日）	4日「歯科医に必要な口腔顔面痛の知識」(仮) 5日「口腔顔面痛…その痛み、本当に歯が原因ですか？」 井川雅子先生 (静岡市立清水病院・口腔外科)	鳥根県歯科医師会館 松江市南田町141-9 TEL 0852-24-2725	鳥根県支部 支部長 高木瑞穂 TEL 0852-52-2220	支部会員 同窓会員 歯科医師会 会員

## 九州地域支部連合会

平成22年6月5日（土）佐賀県武雄市 湯元荘 東洋館に於いて東京歯科大学九州地域支部連合会支部長会が開催されました。

22年度は九州地区歯科医学大会が佐賀県で開催される為、九州各県より支部長の先生方に集まって頂き、各県の会員の現況報告並びに名簿の確認などを報告して頂いたのち、場所を2階の宴会場に移し、佐賀県支部長副島洋二先生の挨拶、九州地域支部理事濱田孝一先生の乾杯の挨拶で宴がはじまった。



母校の120周年を迎えた話、国家試験での健闘している話などで2時間はあっという間に過ぎ、10月に開催される九州地区歯科医学大会の成功を祈願し散会した。

### 武雄温泉の紹介

1200年前から続く古湯であり、古くは神功皇后も入浴されたと伝えら

れています。東洋館は東京駅舎や青山学院高等部を設計した辰野金吾氏設計の武雄温泉楼門前に立ち、徳川時代には参勤交代の脇本陣を務め、剣聖・宮本武蔵が巖流島の決闘後、五輪の書の想を練った由緒の宿です。

(新富芳浩 記)



## 福島県支部

6月26日(土)「いわきワシントンホテル椿山荘」において、同窓会福島県支部総会が41人の参加で開催されました。来賓として関 泰忠同窓会副会長、大学より柳澤孝彰副学長をお招きしました。

県支部総会は、13時から中村秀勝副支部長の開会の言葉で始まり、物故会員への弔慰、黙祷、新入会員の紹介、椎木一雄支部長の挨拶のあと、原 英一先生を議長に選出し、議事及び協議が行われました。新支部長として県南方部の佐藤正矢先生が選出され、その他の新役員も選出されました。また、来賓としてお招きした柳澤孝彰副学長からは大学の

近況、大学機能の水道橋・御茶の水への移転についてお話をいただきました。

学術研修会は、東海大学医学部付属八王子病院の口腔外科教授の坂本春生先生を招いて「口腔外科感染症からみた感染症と抗菌薬の話」と題して講演をいただきました。口腔外科で行われる難易度の高い症例の解説から一般開業医での日常臨床に役立つ知識までご説明いただき、活発な質疑応答が行われました。

学術研修会終了後、記念撮影を行い、その後懇親会が行われました。椎木一雄支部長の挨拶、坂本春生教授の乾杯で始まり、世代・地域を越

えた終始和やかな雰囲気の中で楽しいひとときを過ごし、最後は恒例の円陣を組んで校歌斉唱を行い、深夜まで親睦を深めました。

翌27日日曜日は「サラブレッドカントリークラブ」にてゴルフコンペが開催されました。14名の参加者があり、いわき支部の原 英一先生が優勝されました。

福島県は面積が広く、交通の不便な地域も多いですが、今年もたくさんの方の同窓会会員が集まり、親睦を深めることができました。

(西山令生 記)



紙面の都合により一部順序入れ替えております

## 秋 田 県 支 部

平成22年5月29日（土）午後2時より秋田キャッスルホテルに於いて33名の支部会員出席のもと21年度支部総会が開催されました。同窓会本部より宮地建夫副会長、高橋文明理事、大学より歯周病学講座山田 了主任教授を来賓としてお迎えしました。

総会は中村 勤副支部長の開会の辞、物故会員の黙禱に続き高橋昭一支部長が挨拶され、続いて宮地建夫先生が同窓会の強い団結力と本学水道橋移転の推移を説明され、高橋文明先生より東北地域理事就任の抱負を述べられました。山田 了教授より高い国家試験合格率と最先端の歯科医学教育の現状を説明して頂きました。その後、会計報告やその承認など順調に行われ、任期満了にと

もなう支部長および監事の選挙の議事では新支部長に藤原元幸先生が満場一致で選出され、監事に有明 一先生、奈良周彦先生が選任されました。

定時総会閉会后、山田 了教授による歯周病の展望「ペリオドンタルメディスンと再生療法」と題した学術講演が行われ、さまざまな全身疾患と歯周病が双方向に関与していることと歯周組織の最先端の再生療法

の臨床のお話を拝聴致しました。

記念写真撮影の後、太田 晃顧問の乾杯のもと懇親会が開宴し、高橋昭一支部長に6年間の感謝の意を表し会員より花束の贈呈がありました。本支部は女性会員も多く、華やかに和気藹々とした雰囲気の中、終始和やかに時間が過ぎました。

（清水隆夫 記）



## 群馬県支部



### 平成21年度 定時総会

平成22年3月13日(土)、前橋テルサにて、平成21年度定時総会が開催されました。逝去会員へ黙祷を捧げ、開会后、清見能久会長より慎重審議の依頼があり、武安一嘉顧問からは、昨年の関プロ開催に際し、会員各位のご協力に感謝と御礼の言葉を頂戴いたしました。その後、来賓

の大山萬夫本部同窓会会長より、「大学と同窓会の関係、同窓会費、大学移転計画」についてご説明戴きました。川越文雄県歯会長からは、「共済制度の維持、生涯研修制度」についてお話がありました。

森下正教先生が議長に選出され、全案慎重審議の結果、賛成多数で可決承認されました。その他として、

大学移転計画について議論されました。閉会后、別室にて記念撮影・懇親会となり、明石隆吉先生の乾杯ではじまり、終始和やかな雰囲気でお睦を深め、正木光児先生の「歯科医師たる前に人間であれ」とのお言葉でお開きとなりました。

(矢内太郎 記)



## 埼玉県支部



平成22年度総会及び学術講演会開催  
去る7月4日(日)、平成22年度東京歯科大学同窓会埼玉県支部総会と学術講演会が開催されました。今年度は6年ぶりの県外開催と言うことで、我が母校の水道橋病院に出来上がりました新しい13階教室にて行われました。

まずは総会に先立ち学術講演会が行われました。今回は東京歯科大学口腔外科学主任教授の柴原孝彦先生に「口腔癌—早期発見のために—」という演題で、口腔癌の第一発見者になりうる我々開業医にとって、知っておくべき症例や症状を、具体的な例をまじえてわかりやすく講演いただきました。

引き続き行われました総会は幹事長の高橋章雄先生の司会で幕が開き、副支部長の春山良夫先生の開会の辞、支部長の成田賢二先生が挨拶されました。さらに来賓の東京歯科大学同窓会会長の大山萬夫先生には最近の同窓会の動向、東京歯科大学



副学長、井出吉信教授には本学の様子や移転に関する進捗状況などを交えてご挨拶いただきました。

総会議事に入り、議長に森山和郎先生、副議長に藤波 齊先生が選出され、会議は順調に進行し、第一号議案：平成21年度収支決算の承認を求める件、第二号議案：平成22年度事業計画の承認を求める件、第三号議案：平成22年度予算の承認を求める件、のすべての議案が承認され、協議事項の後、副支部長馬橋亟男先生の閉会の辞にて平成22年度総会は終了いたしました。

懇親会は、折から降り出した大粒の雨が降る夕立の中、場所を東京



ドームホテル42階のバンケットルームに移して行われました。副庶務の野原英彦先生の司会で始められ、まずは総会開催地区の遊佐康夫先生の開会の辞で幕が開き、埼玉県歯科医師会副会長小杉国武先生にご挨拶いただき、埼玉県歯科医師会前監事の増田紀男先生の乾杯で祝宴となりました。綺麗な横目に見ながら美味しい料理に舌鼓を打ち、少々お酒も入って楽しいひとときを過ごしました。門平忠一郎先生をソングリーダーとして校歌斉唱を行ない、副支部長の粟生田友三先生の閉会の辞にてお開きとなりました。

(海野 智 記)



## 川崎支部

平成22年6月26(土)～27(日)、川崎水橋会恒例の学術研修旅行が、熱海『ホテル池田』において行われました。

今回は母校東京歯科大学法歯学講座より水口 清教授をお迎えして、「法歯学の事例から－個人識別の問題点－」というタイトルで講演が行われました。DNA 鑑定を中心に、誰にでも記憶にあるような犯罪の事例に水口先生が深く関わっていることをあらためて知り、皆熱心にお話をうかがいました。犯罪が国際化している近年、人種の特定まである程

度可能であるという、法歯学の重要性、社会への貢献を再認識いたしました。

講演終了後は温泉で汗を流し、水口教授を囲みながら古賀克隆会長以下会員19名で懇親会が行われました。古賀会長の開会の辞に続いて、中川宏明先生の乾杯の音頭で開宴。今回は、昨年入会の一戸小織先生(昭和58年卒)、永島久美子先生(平成6年卒)を含む5名の女性会員が参加し、華やかな宴会になりました。二次会は、カラオケルームにて深夜まで盛り上がり、最後は、全員で校



歌斉唱をして終了しました。

翌日は朝食後、松本 純副会長の閉会の辞で解散となりました。大変楽しく有意義な研修旅行でした。

(大塩美樹子 記)



# ふるさと自慢 ～私のお気に入り～

## 『下町へようこそ』

### 足立区



西新井大師 大本堂

足立区について多くの皆様はご存知ないと思います。簡単に言いますと、東京23区の一つで人口約64万人、東京都区部で一番北で埼玉県との境にあります。面積は、53キロ平米で大田区、世田谷区に続き三番目です。皆様が想像する大都会のイメージとは異なり、荒川放水路や沢



舎人ライナー

山の公園があり、緑も多く23区の中で今でも下町気質の残るのんびりした所ですが、近年は大型商業施設も増え、買い物も便利になりました。

写真の西新井大師は関東三大師の一つで、弘法大師巡行の折に作られ、厄除に御利益があり、門前の草団子が有名です。また、新しい電波塔として墨田区に建設中の東京スカイツリーも、各所から見え、少しずつ高くなる様子が楽しみです。

2008年には舎人ライナーという新交通システムが開業しさらに便利になりました。無人なので、先頭に座ると非常に見晴らしが良く大人でも楽しめます。2005年に開業した筑波と秋葉原を結ぶTXも足立区を通り、乗降客を増やして、新しい



山門 金剛力士像

鉄道のおかげで、今まで不便だった地域も便利になってきています。

中心である北千住は日比谷線、千代田線、常磐線、TXの通るターミナル駅で丸井、ルミネのような大規模店の他に、下町ならではの小さい飲食店が、新旧入り交じり細い路地に沢山並び、お酒を飲む方だけでなく美味しい食事を楽しむ方にも是非足を運んで頂きたいです。

(昭和60年卒 尾崎圭子)



# クラス会だより

## クラス会開催日程

いとし会 (昭和24年卒)	とき	平成22年10月14日 (木) 正午より
	ところ	銀座アスター本店
一期会 (昭和28年卒)	とき	平成22年10月9日 (土) 正午
	ところ	帝国ホテル本館中2階「レセゾン」
八紫会 (昭和35年卒)	とき	平成22年10月9日(土)・10日(日)・11日(月)
	ところ	総会会場 横浜中華街「萬珍樓」
十期会 (昭和37年卒)	とき	平成22年10月10日 (日) 18:30～
	ところ	日本外国特派員協会 (外人記者クラブ)
富巳会 (昭和40年卒)	とき	平成22年10月3日 (日) 17時～21時
	ところ	京王プラザホテル (新宿)

## 燦 志 会

昭和16年卒

### 解散のご挨拶

私共のクラス燦志会は担任の中井教授(細菌学)により名付けられましたが、昭和12年、それは戦争が始まる少し前の長閑な良き時代でもありました。

卒業までの4年間は正規の授業が受けられて卒業出来たことは以後の人生に於いてなよりの幸せであったと感謝しています。私共の1年あとのクラスからは繰上げ卒業となり軍隊に狩り出されました。更に昭和16年に太平洋戦争が始まり昭和20年の終戦までの4年間は国民にとって日々耐乏生活を強いられた苦しい時代でしたが、若くして戦死した人々のことを思えば裸一貫でも戦地から復員出来た事は幸運であったと思わなければならないような時代で、民族がかつて味わった事のない厳しい戦後の日々が待ちかまえてい

ました。然し戦後20年、必死に働いて20数年が過ぎた昭和44年の夏、そろそろクラス会を開こうではないかとの呼びかけで場所は北海道、夫人同伴で、そして初めての飛行機搭乗ということで、久しぶりに同伴のクラスメート60名が2泊3日の旅に集まりました。以後平成20年近くまで2泊3日の国内の旅は続けられ、北海道から沖縄迄全国を見て廻る事が出来たことは幸せでした。また同級生でハワイに住んでいる武田俊勝君よりの誘いでハワイに、また昭和56年に卒業40周年記念でオーストラリア・ニュージーランドに、60年カナダ・バンクーバからニアガラ・エドモント迄の9日間望外の旅が出来ました。

同窓会では同窓会報を通じて、私共一人一人に会の親睦、学術研究会等のご案内から、クラス会の行事の

都度、記念写真と共に投稿文を掲載して下さった会報編集委員会のご厚志に衷心より御礼申し上げます。

さて私共燦志会も今やクラス全員が90歳を超えて同窓の中で最高齢のクラス会となりました。昨年、矢島幹事がクラス全員にクラスの現況と今後の事について意見を伺いましたら、殆どの会員から解散もやむをえないことと諒解を頂きました。昭和12年より大変長い歳月のなか、私共燦志会には有縁・無縁の多くの方々からご高厚志を頂いて参りました。改めて心からお礼を申し上げクラス会解散のご挨拶とさせていただきます。

(安藤 記)

平成22年6月30日

燦志会幹事 矢島敏夫  
〃 岩崎貞彦  
〃 井上良和  
〃 安藤 正

## 一期会

昭和28年卒

本学大学院生の勉学を支援することを目的として、平成10年に発足させた「一期会賞」の贈呈が、去る4月8日恙なく終了し、学長より別掲の謝辞をいただきましたのでご報告いたします。(西山 巖 記)



「東京歯科大学一期会賞の授与に関する覚書」に調印した時に撮影

平成22年5月22日

東京歯科大学  
一期会 殿

東京歯科大学  
学長 金子 讓 印

### 東京歯科大学一期会賞について (御礼)

拝啓 新緑の候、益々ご盛栄のこととお喜び申し上げます。

平素は、母校発展のために格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「東京歯科大学一期会賞」においては、平成10年度より12年間という永きにわたり大学院生の学業支援に対する賛美の浄財をご支援賜りまして衷心より御礼申し上げます。

ここに、深甚なる感謝の意を表します。

敬具

## 十二期会

昭和39年卒

### 第45回東京大会

大学の120周年記念事業に参加される方のことを考えて、5月21日浦安市舞浜「ホテルヒルトン東京ベイ」にて開催されました。

21日昼間、ゴルフ組は、前夜ホテルに集合。参加者9人は快晴の下に千葉バーディクラブにてプレーしました。あまりの暑さにカートを使用することにし無事プレーを終了しま

した。優勝は谷 光明君でした。

母校訪問組は、東京駅に集合し、観光バスにてまず水道橋大学病院を中心に新校舎建設予定地を見学し、その後東京歯科大学キャンパス訪問



となりました。学内の見学を約2時間行ない、久しく訪れた大学の、敷地の広さ荘厳さに触れ、改めて大学の偉大さに皆々が驚きさえ憶えていました。特に脳科学の研究をはじめ、基礎的研究の充実、更に患者さんの多い事にふれ、新しい出発となる大学移転後の水道橋に大きな期待と少しの不安を皆々が口にしながら、

楽しく有意義な半日を過ごしました。その後一路総会・懇親会の会場へと向かいました。

総会は5時過ぎより行われました。同期の同窓会副会長片倉君より東京歯科大学120周年記念事業の説明を受け、水道橋移転の件に出席者は納得したようでした。

懇親会に移り、片倉君が母校創立

120周年記念の為に作詞した「祝いの詩」が、本人の独唱で披露されました。尚作曲は同窓の伊佐津和朗様（昭和63年卒）です。

出席者は夫婦7組を含む41名でした。22日（土）の朝流れ解散となり、何人かは帝国ホテルで行われた記念式典に参加しました。

（平井泰行・落合 武 記）

## OB会・グループ・サークルだより

### 第5回画像診断研修会のご案内

画像診断研修会は、東京歯科大学歯科放射線学講座OB会「ORA!の会」が主催する研修会です。前回（第4回）から3年ぶりの開催となります。これまではOB会有志が運営してまいりましたが、昨年発足しました「ORA!の会」主催としてこれからも開催してまいりま

す。なにとぞよろしくお願ひいたします。

第5回は下記の通りです。どなたでも参加できますので、お気軽にお申し込みください。

（「ORA!の会」画像診断研修会

担当幹事：昭和56年卒小林 顕 記）

記

#### 第5回画像診断研修会

主催：東京歯科大学歯科放射線学講座 OB会「ORA!の会」

協力：東京歯科大学歯科放射線学講座

2010年11月6日（土） 午後6時30分～午後8時30分

東京歯科大学水道橋病院13階研修会場予定

会費：3,500円 （終了後の懇親会会費別）

#### 1.（教育講演）パノラマX線写真の読像

臨床での画像診断に際して、重要な解剖学的構造物

主要疾患の診断において重要な所見

骨粗鬆症、動脈硬化、との関連、その他

講師：東京歯科大学歯科放射線学講座主任教授

佐野 司

#### 2. 演題未定（教室の研究成果より）

演者：東京歯科大学歯科放射線学講座 教室員

#### 3. 重度歯周炎罹患患者の補綴設計に関する考察

演者：東京歯科大学歯科放射線学講座 OB

小林 顕

#### ○問い合わせ・参加申し込み：

画像診断研修会事務局（うへの歯科医院内）

Tel/Fax. 043-207-5150

E-mail: hiro\_ue@bolero.plala.or.jp

または、東京歯科大学歯科放射線学講座

Tel. 043-270-3962 Fax. 043-270-3963

（担当：西川慶一）

E-mail: knishi@tdc.ac.jp

※申し込みいただいた方に、会場地図など、詳細をお知らせいたします。

# 庶務日誌

7月

1) 理事会

7月14日(水) 第4回常任理事会

2) 委員会

7月5日(月) 事業系ワーキンググループ

6日(火) 保険部委員会

12日(月) 広報部委員会(会報編集)

12日(月) 厚生部委員会

13日(火) 学術部委員会(プログラム委員会)

14日(水) 学術部委員会(運営委員会)

19日(月) 事業系ワーキンググループ

21日(水) 同窓会改革検討特別委員会

21日(水) 学術部委員会(運営委員会)

21日(木) 会長、副会長連絡会

22日(木) 同窓会主催全国ゴルフ大会実行委員会

23日(木) 学術部委員会(将来像検討委員会)

24日(土) 全国歯科大学同窓・校友会学術連絡会

26日(月) 学術部委員会(企画委員会)

27日(火) 渉外部委員会

28日(水) 学術部委員会(研修委員会)

28日(水) 学術部委員会(プログラム委員会)

30日(金) 情報部委員会

3) 出張

7月3日(土) 信越地域支部連合会総会(新潟県支部担当) 大山会長, 片倉副会長, 飯島理事出席  
学術講演会 講師・井川雅子先生(静岡市立清水病院口腔外科)

3日(土) 新潟県支部総会 大山会長, 片倉副会長, 飯島理事出席

4日(日) 埼玉県支部総会 大山会長出席  
学術講演会 講師: 柴原孝彦教授(母校)

21日(水) 練馬支部学術講演会 講師・矢島安朝教授(母校)

29日(木) 日本大学歯学部同窓会主催チャリティーコンサート 宮地副会長出席

31日(土) 宮崎県支部学術講演会 講師・佐藤亨教授(母校)

4) 事業

7月10日(土) TDC 卒後研修セミナー〔卒研セミナー(No.5安全で確実なインプラントをするために)〕

11日(日) TDC 卒後研修セミナー〔卒研セミナー(No.5安全で確実なインプラントをするために)〕

8月

1) 委員会

8月1日(日) 学術部委員会(全体委員会)

2日(月) 総務・会計部打合せ

2日(月) 保険部委員会

5日(木) 事業系ワーキンググループ

6日(金) 学術部委員会(プログラム委員会)

20日(金) 広報部委員会(会報企画)

23日(月) 学術部委員会(企画委員会)

25日(水) 学術部委員会(研究部委員会)

26日(木) 学術部委員会(運営委員会)

2) 出張

8月21日(土) 北海道地域支部連合会総会 大山会長, 高橋専務理事, 戸田理事出席

28日(土) 長野県支部合同総会 片倉副会長出席  
学術講演会(中信支部担当) 講師・山崎長郎先生(東京都開業)

## 逝去会員

下記の会員が逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し心からご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略・届出順)

- 昭17.9卒 飯島 皓(88歳) 22.5.6  
小石川支部 〒112-0011 文京区千石4-33-24
- 昭35卒 久野 勇(75歳) 22.5.26  
佐賀県支部 〒849-1203 杵島郡白石町戸ヶ里2426-3

●昭 14 卒	奥山智一 (92歳)	22. 5. 29
山形県支部	〒991-0025 寒河江市八幡町1-3	
●昭 27 卒	志賀昭二 (81歳)	22. 4. 29
小石川支部	〒112-0013 文京区音羽1-23-22	
●昭 23 卒	永田稔 (84歳)	22. 6. 2
埼玉県支部	〒366-0823 深谷市本住町14-52	
●昭 41 卒	笠原保 (70歳)	22. 5. 27
渋谷支部	〒154-0014 世田谷区新町1-29-15	
●昭 25 卒	森昭夫 (82歳)	22. 6. 3
鹿児島県支部	〒899-7305 曾於郡大崎町仮宿1036	
●昭 10 卒	廣田一夫 (96歳)	22. 6. 3
愛知県支部	〒440-0806 豊橋市八町通1-32	
●昭 17. 9 卒	青木秀雄 (89歳)	22. 6. 8
愛知県支部	〒451-0062 名古屋市西区花の木3-19-9	
●昭 36 卒	木村昭 (75歳)	22. 6. 11
兵庫県支部	〒650-0012 神戸市中央区北長狭通8-3-3	
●昭 13 卒	吉武観八郎 (91歳)	22. 6. 16
大分県支部	〒879-4412 玖珠郡玖珠町山田2555	
●昭 19. 9 卒	浅井正 (86歳)	22. 6. 18
兵庫県支部	〒651-0056 神戸市中央区熊内町3-6-1	
●昭 20. 9 卒	宝諸司郎 (85歳)	22. 6. 27
広島県支部	〒720-0066 福山市三之丸町11-10	
●昭 8 卒	田辺和三郎 (100歳)	22. 7. 1
武蔵野支部	〒180-0022 武蔵野市境5-20-5	
●昭 8 卒	嶽崎亥生 (95歳)	19. 10. 10
宮崎県支部	〒885-0041 都城市一万城町24-11	
●昭 35 卒	天田治男 (74歳)	22. 6. 4
群馬県支部	〒370-0864 高崎市石原町2139-4	
●推薦会員	酒井隆 (99歳)	21. 2. 9
愛知県支部	〒450-0033 名古屋市市中村区名駅南3-11-22	
●昭 15 卒	天羽正 (93歳)	22. 6. 29
千葉県支部	〒260-0834 千葉市中央区今井3-25-11	
●昭 62 卒	牧尾美代子 (47歳)	22. 7. 4
杉並支部	〒179-0072 練馬区光が丘3-3-9-706	
●昭 24 卒	石井昭 (81歳)	22. 7. 4
横浜鶴見支部	〒230-0015 横浜市鶴見区寺谷2-19-7	
●昭 39 卒	赤沢荘三 (71歳)	22. 7. 3
岡山県支部	〒710-0043 倉敷市羽島1000-77	
●昭 47 卒	倉田雅人 (62歳)	22. 7. 13
富山県支部	〒935-0016 氷見市本町21-16	
●昭 25 卒	加藤正和 (83歳)	22. 7. 11
愛知県支部	〒489-0916 瀬戸市平町3-63	
●昭 32 卒	五百住一夫 (77歳)	22. 7. 3
目黒支部	〒153-0064 目黒区下目黒3-14-13-103	
●昭 39 卒	福島直 (79歳)	22. 7. 22
麴町支部	〒102-0082 千代田区一番町15-6 コープ野村一番町202	
●昭 38 卒	柳川一征 (71歳)	22. 7. 25
大分県支部	〒874-0848 別府市大畑町4-1	
●昭 13 卒	西山孝雄 (94歳)	22. 7. 25
岐阜県支部	〒305-0100 可児市兼山690	

## ◆投稿規定

### (1) 原稿締切り

原稿の締切りは、奇数月の10日までとし、原則として翌月発行の会報に掲載いたします。

### (2) 投稿様式

投稿は原稿用紙に横書きとし、便箋などの使用はご遠慮ください。ワープロ使用の場合は1行16字で設定して下さい。写真はピントのあったものを、大きいサイズ(2Lなど)で、集合写真のみでなく、スナップなども添えて下さい。

### (3) 投稿字数

- ① 「すいどうばし」欄(随想、詩、短歌、時評など)は、1編1,600字程度
- ② 「支部のうごき」「クラス会だより」は、本文のみの場合1,600字程度。写真が入る場合、3

段抜き900字、2段抜き400字、1段抜き200字減らして下さい。

### ③ 「追悼」は、500字程度

- (4) ご投稿いただいた原稿は原則として原文のまま掲載いたします。ただし、紙面の都合により加筆削除等お願いすることがありますので、ご了承下さい。

なお、掲載については委員会にご一任いただきます。

### (5) 写真等の返却

写真等は、原則として返却いたしません。特に貴重な写真などの場合は、その旨書き添えて下されば返送いたします。

写真は同窓会ホームページにも掲載されることがあります。

電子メールでの投稿は同窓会ホームページ<http://www.tdc-alumni.jp/membersonly/kouhoubu.php> をご覧下さい。

## ◆へんしゅうこうき

★ 世界中を熱狂させたサッカー、ワールドカップは、スペインの優勝で幕を閉じました。そして、戦前は、散々な評価だった日本チームは、予想を裏切る快進撃で、2002年以来の予選リーグ突破をはたしました。経済、政治と、何かと落ち込む事が続いている昨今、久し振りに、日本中が熱くなりました。「辞めろ」コールで「四面楚歌」だった岡田監督も、評価が一変し、帰国時は、凱旋將軍のごとき扱いです。今回のサムライ・ジャパンの活躍を否定するものではありませんが、人の評価というものは、いかげんで、結果如何で、いかようにも変わる、といういい見本かも知れません。

★ 参議院選挙は、絶対的優位と言われた民主党が、選挙を前にして失速し、惨敗とも言えるほどの結果になりました。「我らが代表」として応援した候補も、どうにか当選したようです。国会議員としての仕事ぶりには、今度は、支持者、国民の厳しい評価が待っています。そして6年後には、その評価の結果が下されます。貴重な1票を投じた有権者の期待を裏切らないように願いたいものです。

★ 母校は、前号で報告したように、創立120周年の記念式典や祝賀会も終了し、また、あらたな歴史を歩み始めました。平成24年4月からは、新入生は、お茶の水の「さいかち坂校舎」に入学してきます。先を読んで対処する進取の精神も大学の伝統です。今回のワールドカップの如く、人の批判と評価は表裏一体ですが、それはまた、期待への裏返しでもあります。同窓としては、水道橋への移転により、さらに母校が発展していくことを願っております。

(東郷 幹夫 記)

### 広報部委員会

委員長  
委員

三友 和夫  
東郷 幹夫  
小池 修  
古澤 成博  
尾崎 圭子  
福井 雅之  
渡邊 宇一  
島田 篤

### 広報部担当理事

白田 準

平成22年8月20日 印刷

平成22年8月25日 発行

東京歯科大学同窓会会報 第377号

同窓会ホームページアドレス

<http://www.tdc-alumni.jp>

発行人 白 田 準

編集人 三 友 和 夫

東京歯科大学同窓会

〒101-0061 東京都千代田区三崎町2-9-18

電話 (03) 5275-1761

FAX (03) 3264-4859

印刷所 一世印刷株式会社

〒161-8558 東京都新宿区下落合2-6-22

電話 (03) 3952-5651 (代)